

湯田ダムだより

平成25年12月

北上川ダム統合管理事務所
湯田ダム管理支所

湯田ダムは2014年に50周年を迎えます



あっという間に葉が落ち、冬がやってきました。



- ①洪水貯留準備水位 : 洪水が多い期間(7/1~9/30)は、洪水を貯めるために貯水位を下げておきます。
- ②平常時最高貯水位 : 洪水が少ない期間(10/1~6/30)は、発電等に利用する水量(水位)を多く確保します。

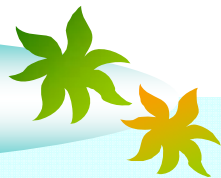
平成25年度 総合防災訓練を実施しました

北上川ダム統合管理事務所では、11月19日(火)、総合防災訓練を実施しました。本訓練は、東日本大震災の経験を踏まえ、震災発生時における被災状況の迅速かつ的確な伝達及び情報共有などの初動対応訓練を実施し、職員の防災能力の向上を図ることを目的としています。当日は9時40分に震度6強の地震が発生したと想定、湯田ダム管理支所においても、各関係機関への連絡・ダムの設備点検等を行い、地震発生時の対応の流れを確認しました。東日本大震災から2年9ヶ月が経ちますが、湯田ダム管理支所としても今後も常に防災意識を持ち、職員一丸となって皆様の安心・安全に努めてまいります。

《訓練・点検実施の様子》



和賀川の清流を守る会 河川パトロール・清掃活動



11月6日(水)、「和賀川の清流を守る会 2013年第2回 河川パトロール及び清掃活動」が行われました。7月に引き続き今年の第2回目となる今回は、100名以上が参加しました。

同日はパトロール班と清掃班に分かれて作業を実施。和賀川グリーンパーク周辺を中心に清掃を行い、空き缶やペットボトル、家電、タイヤなどが回収されました。こういった不法投棄された廃棄物は自然に返ることが出来ず、川の水質汚染にもつながります。絶対にやめましょう。

この活動を通じて、きれいな和賀川の清流を次世代に残していけるよう、これからも参加していきたいと思ひます。



湯田ダム職員も参加



投棄されていた家庭ゴミ



放流管の補修作業を行いました(10/1~11/22)



断面図



右の写真は
この中です!



洪水時はこの中を1秒で約200m³の水が流れます!!

今回補修作業が行われたのはコンジットゲートと呼ばれる、下部のゲートです。通常、ダムから放流する時はこの場所からダム湖の水を外へ流します。

幅約4メートルの管の中に足場を組んでの作業は、20年ぶりとのこと。点検では大きな破損等はなく、補修作業は無事終了しました。

1秒で200m³とは
1秒でお風呂1000杯分! (200L計算)

湯田ダムの仲間たち

係船庫に “コウモリ” がありました!



こんなに細い足で天井にぶら下がって寝ていました! 起こしてゴメンね。



つぶらな瞳...♡

編集後記



湯田ダムにもとうとう冬がやってきました。西和賀町は雪が深いことでも有名です。運転の際は十分に気をつけて、時間に余裕をもって外出しましょう。(佐)

発行

北上川ダム統合管理事務所 湯田ダム管理支所

〒024-0341 和賀郡西和賀町杉名畑44地割162-15

TEL: 0197-74-2011 FAX: 0197-74-2013

ホームページ: <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato>

《2014》湯田ダム50周年